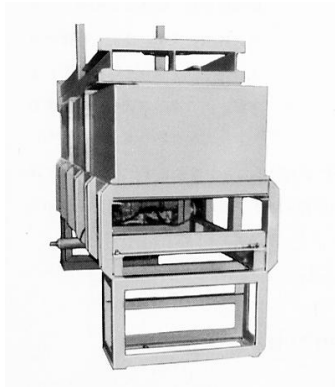


O. S. K 6004 カートタイプサンプラー (Car-Type Sampler)



本機はコンベヤーで輸送される粉、塊または紛塊混合物をその落ち口においてカーボックスにより試料の流れ全流幅を横切って通過する（全流幅、全層厚採取）ためカタヨリなくサンプリングすることができます。カーボックスは走行台車に固定されその走行台車はラック及びピニオンギヤによる自走式となっています。ベルトコンベヤーに対し直角に横切ったカーボックスはベルトコンベヤーの右又は左端にて180°反転し、ホッパーに排出する方式で排出が完了するとカーボックスは下向きのままスタートポジションまで戻り次のサンプリングに備えます。

特 徴

- (1) 設置空間、特に高さ的に小さく製作できるので、既設設備に取り付ける場合、空間的余裕の少ない場所にも容易に設置することができます。
- (2) ベルトコンベヤーの落差の少ない場所にも設置することができますので、採取した試料の潰裂を防止することができます。
- (3) カッターサンプラー、ベルトサンプラーに比べて採取した試料を一カ所に排出することができますので設置面積が少なく済みます。
- (4) 時間等間隔又は重量等間隔ごとに自動的にサンプリングすることができます。
- (5) カーボックスが試料の流れ全流幅を横切って通過するためカタヨリなくサンプリングすることができます。
- (6) カーボックスのトラベリングスピードを変更することによりインクリメントサイズを所要の大きさにすることができます。
- (7) カーボックスの材質、形状等に工夫を凝らしてありますので試料の詰まり、残留などがまったくありません。
- (8) カーボックス横行装置、反転装置等に十分な強度と構造を有し、走行台車のブレーキはリミットスイッチ又はセンサーとデスクブレーキの組合せにより無理なく確実に停止することができます。
- (9) 輸送ベルトコンベヤーとのインターロック及び空振り防止装置との併用により確実に採取することができます。

仕 様

- (1) カーボックス横行ストローク 500～5,000mm
- (2) カーボックス横行スピード 150～1,000mm/Sec
- (3) 採取間隔の調整は時間等間隔の場合はタイマーで行い、重量間隔の場合はメリックスケールの採取指令信号により行います。
- (4) インクリメントサイズの調整は最大粒度に対応したカーボックス幅の変更あるいは横行スピードの変更により行えます。

その他の型式

設置場所適応した底開き式、エンドレス式があります。

